

現在の付属物の色彩

本橋の付属物として、色彩変更に関わるものとしては、照明器具、歩行者用信号機、高欄等があげられます。

現在の付属物の状況は、以下のとおりとなっています。



【照明器具・信号機】
本橋のグラデーションに相当する色彩とほぼ同等に塗られています。



【照明器具（夜間）】
黄色みがかかった照明となっています。



【高欄】
アルミ製で、材質本来のシルバー色となっている。現状では腐食等の問題は発生していない。

付属物の色彩についての考え方

現状におけるの色彩の考え方や本橋との関係等を考慮し、付属物の色彩については以下のように考えます

●照明器具等の色彩についての考え方

- ・照明器具および歩行者用信号機については、橋本体に取り付けられており、グラデーションの一部を構成することとなるため、本橋のグラデーションに相当する色彩とします。
- ・なお、歩行者用信号機については、警察に確認を得ることが必要となります。

●高欄の色彩についての考え方

- ・高欄については現状で問題が発生しておらず、再塗装等補修の対象とはならないため、現況のシルバー色から「変更なし」とします。
- ・現在の高欄はアルミ製であり、表面がシルバーアルマイト仕様となっており、再塗装のしにくい仕上げとなっています。
- ・橋本体の候補色と高欄の関係を見ると、粗悪な景観とはならず、色彩等変更の必要性はないと考えられます。



照明器具等は橋本体のグラデーションに相当する色彩とします。

高欄は、現況のシルバー色から「変更なし」とします。